



平成17年3月期 第3四半期累計（9か月間）財務・業績の概況（連結）

平成17年2月17日

上場会社名 **藤森工業株式会社**

(コード番号：7917 東証第一部)

(URL <http://www.zacros.co.jp/>)

代表者 役職名 代表取締役社長

氏名 藤森 明彦

問合せ責任者 役職名 常務取締役 管理担当兼経理部長 氏名 飯島 崇夫

TEL (03) 3661-4211

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

(1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

(内容) ① 一般債権に係る貸倒引当金の計算

前中間連結会計年度における貸倒実績率を用いて計算しております。

② 固定資産の減価償却の方法

年度見込額のうち当該四半期までの累計値を計上しております。

③ 税金費用の計算

連結会社の個別財務諸表上の税金費用については、法定実効税率をベースとした、当年度の予測税率を用いて計算しております。

(2) 最近連結会計年度からの会計処理方法の変更の有無 : 無

(3) 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有

(内容) 連結 (新規) 1社 (まつやゼロファン株式会社)

2. 平成17年3月期第3四半期累計（9か月間）財務・業績の概況（平成16年4月1日～平成16年12月31日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

(百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年3月期第3四半期累計	49,734	(9.9)	1,781	(-)	1,761	(17.2)
16年3月期第3四半期累計	45,245	(-)	-	(-)	1,503	(-)
(参考) 16年3月期	61,609		2,208		2,198	

	四半期(当期) 純利益		1株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益	
	百万円	%	円	銭	円	銭
17年3月期第3四半期累計	959	(15.6)	59	38	-	-
16年3月期第3四半期累計	830	(-)	-	-	-	-
(参考) 16年3月期	1,227		77	27	-	-

(注) 売上高、経常利益及び純利益以外の四半期経営成績の開示は、前年同期については行っていないため記載しておりません。また、売上高、経常利益等におけるパーセント表示は、対前年同期比増減率を示しております。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

平成17年3月期第3四半期（平成16年4～12月）におけるわが国経済は、企業収益の改善、民間設備投資の増加など、順調に推移しましたが、原料価格の上昇やデジタル関連需要が調整局面を迎えるなど、事業環境は急速に厳しさを増しつつあります。

このような状況のなかで、当社グループでは成長分野である機能材料部門のIT関連製品の販売拡大に努めるとともに、包装部門の新たな生産拠点として横浜事業所を開設し、川崎事業所からの移転に着手、さらに研究所の移転を完了し、今後の事業の拡大と収益基盤の強化を進めてまいりました。

その結果、当第3四半期の連結業績は売上高497億3千4百万円（前年同期比9.9%増）、経常利益17億6千1百万円（前年同期比17.2%増）、中間純利益9億5千9百万円（前年同期比15.6%増）となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

(百万円未満切捨)

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年3月期第3四半期	62,924	24,033	38.2	1,389 27
16年3月期第3四半期	—	—	—	—
(参考) 16年3月期	59,075	21,422	36.3	1,388 77

【連結キャッシュ・フローの状況】

(百万円未満切捨)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
17年3月期第3四半期累計	5,630	△5,071	302	3,822
16年3月期第3四半期累計	—	—	—	—
(参考) 16年3月期	1,867	△2,627	883	2,964

(注) 四半期財政状態の開示は、前年同期については行っていないため記載しておりません。

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期末における総資産は、横浜事業所の建設などにより固定資産が増加したことで、平成16年3月期末に対して3,849百万円増加の62,924百万円となりました。

負債につきましては、借入金は減少いたしましたが、支払手形及び買掛金が増加したことにより、平成16年3月期末に対して1,218百万円増加の38,543百万円となりました。

株主資本は増資により平成16年3月期末に対して2,611百万円増加の24,033百万円、株主資本比率は38.2%となりました

[キャッシュ・フローの状況]

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動により得られた資金が税金等調整前当期純利益の1,665百万円に加え、手形債権の流動化などによる売上債権の減少が2,037百万円あったことなどから、5,630百万円となり、投資活動の結果支出した資金は横浜事業所建設に伴う有形固定資産の取得などにより5,071百万円、財務活動により支出した資金は新株の発行による収入はありましたが、借入金の返済などにより302百万円となりました。この結果、現金及び現金同等物の当第3四半期末の残高は3,822百万円となりました。

[参考] 平成 17 年 3 月期の連結業績予想 (平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日)

		売 上 高	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
		百万円	百万円	百万円	円 銭
今回発表予想 (A)	通 期	65,000	2,100	1,050	60.70
前回発表予想 (B)	通 期	67,000	2,300	1,150	66.48
増 減 額 (A) - (B)	通 期	△2,000	△200	△100	—
増 減 率 (%)	通 期	△3.0	△8.7	△8.7	—

[連結業績予想に関する定性的情報等]

第 4 四半期のわが国の経済は、国内外の経済成長の鈍化や個人消費の低迷が企業収益に悪影響を及ぼすことが懸念されます。

化成品部門の I T 関連市場では携帯電話、コンピュータ機器等の生産活動が減退し始めたことにより売上高の減少や、原材料の高騰等から利益が低迷する見通しでありますので、グループを上げて売上高の増加、生産性の向上を推進しておりますが、売上高、経常利益、当期利益は前回発表に対しそれぞれ 20 億円、2 億円、1 億円下回る見通しであります。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

1. (要約)四半期連結貸借対照表

(単位:百万円、%)

科 目	当 期 (平成17年3月期 第3四半期末)	前 年 同 期 (平成16年3月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 平成16年3月期
	金 額	金 額	金 額	増 減 率	金 額
(資産の部)					
I 流動資産					
1. 現金及び預金	4,062	—	—	—	3,202
2. 受取手形及び売掛金	19,780	—	—	—	22,219
3. たな卸資産	8,211	—	—	—	6,869
4. その他	1,970	—	—	—	1,176
流動資産合計	34,024	—	—	—	33,468
II 固定資産					
1. 有形固定資産	23,386	—	—	—	20,303
2. 無形固定資産	323	—	—	—	101
3. 投資その他の資産	5,190	—	—	—	5,202
固定資産合計	28,900	—	—	—	25,606
資産合計	62,924	—	—	—	59,075
(負債の部)					
I 流動負債					
1. 支払手形及び買掛金	16,167	—	—	—	13,901
2. 短期借入金	5,922	—	—	—	6,959
3. 賞与引当金	397	—	—	—	792
4. その他	7,360	—	—	—	6,802
流動負債合計	29,848	—	—	—	28,455
II 固定負債					
1. 社債	200	—	—	—	200
2. 長期借入金	4,087	—	—	—	4,528
3. 退職給付引当金	3,716	—	—	—	3,378
4. 役員退職引当金	147	—	—	—	399
5. その他	543	—	—	—	363
固定負債合計	8,694	—	—	—	8,869
負債合計	38,543	—	—	—	37,325
(少数株主持分)					
少数株主持分	348	—	—	—	326
(資本の部)					
資本合計	24,033	—	—	—	21,422
負債、少数株主持分及び 資本合計	62,924	—	—	—	59,075

(注) 四半期財政状態の開示は、前年同期については行っていないため記載しておりません。

2. (要約) 四半期連結損益計算書

(単位:百万円、%)

科目	当期 (自平成16年4月 至平成16年12月)	前年同期 (自平成15年4月 至平成15年12月)	増 減		(参考) 平成16年3月期
	金額	金額	金額	増減率	金額
I 売上高	49,734	45,245	4,489	9.9%	61,609
II 売上原価	40,733	—	—	—	50,293
売上総利益	9,000	—	—	—	11,315
III 販売費及び一般管理費	7,219	—	—	—	9,107
営業利益	1,781	—	—	—	2,208
IV 営業外収益	221	—	—	—	312
V 営業外費用	240	—	—	—	322
経常利益	1,761	1,503	258	17.2%	2,198
VI 特別利益	45	—	—	—	56
VII 特別損失	142	—	—	—	166
税金等調整前四半期 (当期)純利益	1,665	—	—	—	2,087
税金費用	676	—	—	—	828
少数株主利益	28	—	—	—	32
四半期(当期)純利益	959	830	129	15.6%	1,227

(注) 売上高、経常利益及び純利益以外の財政状態の開示は、前年同期については行っていないため記載しておりません。

3. (要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

区 分	当 期	前年同期	(参考)
	(自 平成16年4月 至 平成16年12月)	(自 平成15年4月 至 平成15年12月)	平成16年3月期
	金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)			
純利益	1,665	—	2,087
減価償却費	1,948	—	2,218
売上債権の増減額(増加:△)	2,037	—	△ 2,150
その他の支出	△ 20	—	△ 288
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,630	—	1,867
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△ 5,132	—	△ 3,433
その他の収入	60	—	806
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,071	—	△ 2,627
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金増減額(減少:△)	△ 1,450	—	300
長期借入れによる収入	2,152	—	2,620
長期借入金の返済による支出	△ 2,180	—	△ 1,979
株式の発行による収入	2,182	—	—
その他の支出	△ 401	—	△ 56
財務活動によるキャッシュ・フロー	302	—	883
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 3	—	△ 3
V 現金及び現金同等物の増加額	857	—	119
VI 現金及び現金同等物の期首残高	2,964	—	2,845
VII 現金及び現金同等物の期末残高	3,822	—	2,964